

令和3年度環境省概算要求重点施策 (廃棄物処理・リサイクル関連施策の抜粋)

～「3つの移行」による経済社会の「リデザイン（再設計）」～

人類は今、新型コロナウイルス感染症という歴史的な危機に直面している。感染拡大防止と社会経済活動の両立は、世界共通の課題である。

一方で、近年、国内でも豪雨が頻発するなど、世界各地で異常気象が発生している。このような事態に対し、今年6月に環境省は政府として初めて「気候危機」を宣言した。

時代の大きな転換点に立っている私たちには、コロナ前の社会に戻るのではなく、持続可能で強靱な社会経済システムへの変革を実現し、世界をけん引できるかが問われている。

こうした認識の下、環境省は、ウィズコロナ・ポストコロナ時代において、「脱炭素社会への移行」、「循環経済への移行」、「分散型社会への移行」という「3つの移行」による、持続可能で強靱な経済社会への「リデザイン（再設計）」を強力に進めていく。

この移行は、急速に変化するグローバル経済における競争力の源泉、すなわち経済社会の「エンジン」であり、また、地球環境問題という重大リスクに対する予防、すなわち経済社会への「ワクチン」である。

「3つの移行」による経済社会のリデザインの重要性は、日本が議長となって令和2年9月に開催された「Platform for Redesign 2020」1において、世界各国と認識が共有された。

国内では、ゼロカーボンシティ（2050年CO₂実質排出ゼロを宣言した自治体）が急拡大し、人口の半数を超える7,000万人台をカバーするに至っている。「3つの移行」は既に動き出している。

この「3つの移行」を統合的に具現化する「地域循環共生圏」（ローカルSDGs）の創造を、デジタル化、分散化、レジリエンス強化などのウィズコロナ・ポストコロナの変化やニーズを梃子に進化させていく。また、我が国の経験・技術を活かして国際的なルール・スタンダードづくりを主導し、新たな技術の発掘・ビジネス創出を推進し、地球規模の脱炭素化や循環経済の構築、SDGsの達成に貢献していく。

また、今般取りまとめた「選択と集中～社会変革のための環境省改革～」（令和2年8月3日環境省「選択と集中」実行本部）によって創出された予算リソースや働き方改革を通じた人的リソースを効果的に活用して、社会変革を遂行していく。

令和3年は、東日本大震災の発災から10年となる。引き続き、強い思いを持って、復興・創生に取り組むとともに、環境省が新たに福島県と締結した「福島復興に向けた未来志向の環境施策推進に関する連携協力協定」に基づき、更なる未来志向の取組を進める。

こうした方針に基づき、環境省では以下の施策を重点的に展開していく。

〔以下、廃棄物処理・リサイクルに関連するものを抜粋。（ ）内の金額は、昨年度予算額 金額は百万円単位。〕

1 「3つの移行」による持続可能で強靱な経済社会へのリデザイン

1-2. 「循環経済」への移行

(1) プラスチック資源循環戦略の具体化

● 脱炭素社会構築のための資源循環高度化設備導入促

進事業

【エネ特】12,600（新規）

● プラスチック代替素材への転換のための技術実証
(脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業【エネ特】) 3,600 (3,600)

● 容器包装等のプラスチック資源循環推進事業費 194 (194)

(2) ウィズコロナ・ポストコロナ時代の持続可能な廃棄物処理体制の構築

●ICT 活用によるごみ収集自動化実証や資源循環に係るプラットフォームによるトレーサビリティ確保等
(デジタル技術の活用等による脱炭素型資源循環システム創生実証事業) 【エネ特】 350 (新規)

●ICT 活用による次世代型産業廃棄物処理の推進等 93 (新規)

●感染症・災害に対応する強靱で持続可能な廃棄物処理体制の構築支援業務 150 (新規)

●感染性廃棄物等の適正処理体制の構築 50 (3)

(3) 大規模災害対応も含めたレジリエントな廃棄物処理体制・施設の整備

●大規模災害に備えた廃棄物処理体制検討事業(災害廃棄物処理計画改定等支援) 800 (1,000)

●一般廃棄物処理施設の整備
【一部エネ特】 55,756 + 事項要求 (59,123)

1-3. 「分散型社会」への移行

(1) 「気候変動 × 防災」・「適応復興」によるレジリエントな地域づくり

②自立・分散型エネルギーによるレジリエントな地域づくり等

●廃棄物処理施設を核とした地域循環共生圏構築促進事業 【エネ特】 25,950 (25,950)

●廃棄物エネルギーの有効活用等
(廃棄物処理 × 脱炭素化によるマルチベネフィット達成促進事業【エネ特】) 2,000 (1,950)

●廃棄物処理施設における地域資源の活用・防災拠点化等による地域循環共生圏に資する技術実証(脱炭素化先導的廃棄物処理システム実証事業)
【エネ特】 500 (新規)

2 「3つの移行」を支える横断的取組

2-1. ESG 金融やナッジなどを活用した社会変革

(3) ナッジ手法の幅広い施策への展開等による行動変容の促進

●食品ロス削減及び食品廃棄物等の3R推進事業費 133 (123)

2-2. 環境外交の強化

(3) G20 大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの拡大・深化

●海洋プラスチックごみ総合対策費(国際連携等) 260 (210)

●海洋ごみに係る削減方策総合検討事業費 215 (215)

2-3. ウィズコロナ・ポストコロナ社会の基盤となる健康と環境を守る取組

(2) 健康と環境を守る取組

●PCB 廃棄物の適正な処理の推進等 5,928 + 事項要求 (5,292)

3 東日本大震災からの復興・創生と更なる未来志向の取組

(1) 環境再生に向けた取組の着実な実施

●放射性物質汚染廃棄物処理事業【復興特】 73,228 (100,924)

(2) 未来志向の復興加速 ～希望ある未来へのリデザイン～

●「脱炭素 × 復興まちづくり」推進事業 【エネ特】 500 (新規)

循環型社会の形成

(1) 国内での資源循環の促進

●リサイクルシステム統合強化による循環資源利用高度化促進事業 275 (275)

●産業廃棄物不法投棄等原状回復措置推進費補助金 976 (982)

●電子マニフェスト普及拡大事業 148 (87)

●災害等廃棄物処理事業費補助金 200 (200)

●廃棄物処理施設災害復旧事業費補助 30 (30)

(2) 資源循環の国際展開

●我が国循環産業の戦略的国際展開・育成事業 360 (370)

●循環経済構築力強化プログラム事業 56 (64)